

授業内容

各科目全 32 回^{*}の授業です。 ※小学校 B・C を除く

沖縄県の教員採用試験にあわせた対策です。

教養試験対策として、月 1 回(計 7 回)の教養月例テストと 1 回の教養模擬試験があります。

(1) 教養

(本校・日曜日＝本校・火曜日＝沖縄校・木曜日)

→カリキュラムは、p.65 をご覧ください。

- ・教養受講者及び教養教材のみ購入の方に、「採用試験過去問題集 一般教養・教職教養(令和 2 年度)」(問題と解説のセット)を無料で配布します。11 月末に配布を予定しています。

☆ 教養の受講クラスは固定制です。

ただし、当該曜日・クラスで受講できない場合は、「振り替え出席制度」が利用できません。

→教養の振り替え出席制度については、p. 24～25 をご覧ください。

- ・定員に達していない限り、途中で校舎・曜日を変更することは可能です。必ず事前に事務窓口で科目変更届を提出してください。科目変更届の詳細は p.22～23 をご覧ください。
- ・沖縄県の採用試験の出題の傾向・特徴に合わせた授業内容です。
- ・授業では、オリジナルテキストを使用します。
 - 教材費は別途 18,000 円が必要です。
- ・教材は、各授業の際に教室で受け取ってください。欠席した場合は、事務窓口で受け取ってください。
- ・教育法規(2)～(3)・学習指導要領(2)・教育史(1)～(2)・教育心理(2)・社会科学(2)と教職教養演習の授業では、それぞれ指定された教材を持参してください。
 - 指定の教養教材を忘れた場合、事務窓口で教材を貸出します。書き込みをせずに、授業終了後に事務窓口で返却して下さい。

- ・ 教養の受講者が退学・休学する場合、「教養教材のみ購入」と同じ扱いになります。教養教材は月1回月末の郵送でのお渡しになります。別途事務手数料(郵送料込み)が必要です。ご了承ください。詳細はp.15の「③ 教養の受講者が途中から「教養教材のみ購入」になる場合」をご覧ください。

① 一般教養

計10回の授業です。

- ・ 「社会科学(政治経済・時事)」2回の授業です。
- ・ 「自然科学(物理, 化学, 生物, 地学, 数学・情報)」5回の授業です。
 - 「物理」「化学」「生物」「地学」「数学・情報」各1回の授業です。
 - 時間数に制約があるため、既出問題を確認することで知識を整理していきます。
- ・ 「琉球・沖縄の文化」「琉球・沖縄の歴史・時事」各1回の授業です。
- ・ 「人文科学(国語, 文学史, 英語, 日本史, 世界史, 地理, 倫理)」1回の授業です。
 - 「日本史・世界史」「倫理」を中心に授業を行います。

② 教職教養

計 22 回の授業です。

教職教養での出題は、「教育法規」「学習指導要領」「特別支援教育」「沖縄の教育・教育時事」「教育史・教育心理・教育原理」「生徒指導文書」がそれぞれ 10 点分ずつ出題されています。授業では、演習問題を数多く解きます。

→『教育用語の基礎知識』(時事通信社)などの用語集を手元に置いて学習することを勧めます。分からない用語はすぐ調べる癖をつけてください。

・「教育法規」3 回

→よく出題される教育基本法, 学校教育法, 学校教育法施行規則, 学校保健安全法, いじめ防止対策推進法, 教育公務員特例法, 地方公務員法を中心に授業を行います。あわせて近年制定された法令などその他の法令についても触れます。「語句の比較」を活用した, たんなる暗記に頼らない意味のある覚え方や, 各法令の関連性及び成立の背景なども解説します。

→「教育法規(2)」「教育法規(3)」「教職教養総合演習A」の授業では, 「教育法規集」を持参してください。

・「教育原理」1 回

→「教育原理」の「教授・学習理論」と「教育史」は関連性が強いので, 1 つの分野と考えてください。「教育原理」の「学習法」「評価の方法」「生徒指導」などは「教育心理」につながっています。関連性を意識した学習が効果的です。

・「教育史」2 回

→沖縄県の教員採用試験で特によく出題される西洋教育史(近世～現代)を中心に, 日本教育史も教えます。

・「教育心理」2 回

→沖縄県の教員採用試験でよく出題される教育評価, 学習, 発達を中心に授業を行います。

・「学習指導要領」2 回

→新学習指導要領を取り扱います。小学校・中学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)及び, 平成 30 年 3 月に公示された高等学校学習指導要領の各「総則」を中心に授業を行います。「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」についても学習します。小学校・中学校については「学習指導要領解説—総則編」も取り上げます。用語補充形式ですが, たんなる暗記に頼るのではなく, 全体との関係や教育法規その他の文書との関連性をおさえた解説をします。

→「学習指導要領(2)」「教職教養総合演習 B」の授業では, 「学習指導要領テキスト」を持参してください。

- ・「教育時事」1回

→「教育時事」は、文部科学省が出した文書、中央教育審議会答申などを取り上げ、それらが出された背景・ねらい・与えた影響などに着目しながら内容を把握します。教育制度改革に影響を与えた重要な答申は、文中の“キーワード”をおさえたい解説をします。

- ・「生徒指導文書」2回

→「生徒指導提要」「生徒指導リーフ」を中心に、出題が予想される生徒指導文書を扱います。

- ・「特別支援教育」2回

→「特別支援教育」の現状と法令を、各種文書を通じて解説します。特別支援教育関係の法規については、学校教育法・学校教育法施行令・学校教育法施行規則、障害者基本法・発達障害者支援法を中心に授業を行います。学習指導要領については、小学校・中学校・高等学校の学習指導要領及び同解説の特別支援教育に関わる項目及び特別支援学校学習指導要領を中心に授業を行います。その他文書については「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン」など過去5～6年に出された文書を中心に扱います。

- ・「沖縄の教育」1回

→沖縄県教育委員会の文書で、出題が予想される「沖縄県教育大綱」「沖縄県教育振興基本計画」「学校教育における指導の努力点」「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」「問い」が生まれる授業サポートガイド」を中心に授業を行います。二次試験対策のためにも読んでおくべき文書です。

※これらの文書は、入校受付時に全員に配布する予定です。

- ・「教職教養総合演習」6回

→講座の最後での演習・解説です。

教職教養総合演習Aは「教育法規」で1回。「教育法規集」を持参してください。

教職教養総合演習Bは「学習指導要領」で1回。「学習指導要領テキスト」を持参してください。

教職教養総合演習Cは「教育時事」「生徒指導文書」で1回。

教職教養総合演習Dは「沖縄県の教育」で1回。

教職教養総合演習Eは「教育原理」「教育史」「教育心理」で1回。

教職教養総合演習Fは「特別支援教育」で1回。

(2) 小学校

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門小学校の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 小学校平成 22 年度～令和 2 年度実施」を無料で配付します。
- ・ 小学校Aでは、国語・算数・理科・社会・音楽・図画工作・家庭の知識の習得及び演習を行います。それぞれの過去問題の解説も行います。専門模擬試験 2 回を行います。
- ・ 小学校Bでは、学習指導要領の対策を行います。専門の配点の約 3 分の 1 を占める学習指導要領を得点源とします。
- ・ 小学校 C では、算数・理科の演習を行います。

(2) 小学校 A(本校・土曜日＝本校・木曜日＝沖縄校・火曜日)

→カリキュラムは、p.67 をご覧ください。

☆ 小学校Aの受講クラスは固定制です。

ただし、当該曜日・クラスで受講できない場合は、「振り替え出席制度」が利用できません。→小学校Aの振り替え出席制度については、p.24～25 をご覧ください。

→定員に達していない限り、途中で校舎・曜日を変更することは可能です。必ず事前に事務窓口で科目変更届を提出してください。変更前も変更後も同じ校舎・曜日で 4 回以上連続受講となる場合に限り（キャンセル待ちによる変更の場合を除く）。科目変更届の詳細は p.22～23 をご覧ください。

指定教材：

(国語)「沖縄県の小学校国語 2021」メセナ予備校 1,500 円

(社会)「Sirius(シリウス)21 中 3 社会」育伸社 1,375 円

(算数)『令和 2 年高校入試対策 入試精選 かんぺき最新問題集』学書 530 円

『沖縄県小学校過去問題集(算数)・解説集』(2 冊を無料で配布)

(理科)※『高校入試 実力メキメキ合格ノート 中学理科』文英堂 シグマベストシリーズ

[物質・エネルギー]編・[生命・地球]編 各 1,210 円 合計 2,420 円

(音楽)「沖縄県の小学校音楽」4 冊 メセナ予備校 475 円

(図画工作)「沖縄県の小学校図画工作」メセナ予備校 300 円

(家庭)「沖縄県の小学校家庭」メセナ予備校 300 円

※の教材は、前年度と同じものですので、前年度までに購入した方や、すでに持ってい

る方は購入しなくてもよいです。必要な方は購入してください。

- ・ 沖縄県の採用試験の出題を考慮した知識事項の習得及び演習を行います。
- ・ 毎回の授業で「国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭」から2教科(80分×2)ずつ学びます。
- ・ 算数22回、国語13回、理科12回、社会8回、音楽3回、図画工作1回、家庭1回の授業です。
- ・ 「国語」は、小説、評論、古文または漢文が出題されます。小説は、場面のイメージがしにくい問題が出題されます。評論は、現代的課題を扱った内容が好まれます。古文漢文は有名な文章が出題される傾向にあります。
授業では小説・評論・古典の三題を解いていきます。
- ・ 「社会」は、令和2年実施では、学習指導要領から1問、歴史分野から1問、公民分野から1問の計3問の出題であった(例年の半分の問題数)。平成31年度実施では地理的分野から1問、歴史的分野から2問、公民的分野から2問、平成30年度実施は地理的・歴史的分野からそれぞれ2問、公民的分野から1問の計6問の出題でした。令和2年実施の出題内容は小学校学習指導要領第2章各教科 第2節社会〔第5学年〕「2 内容(2)」,日本の学校制度の歴史「学制」,「大日本帝国憲法」と「日本国憲法」の比較など基本的な問題であった。平成31年度実施までの出題傾向を踏まえ、3分野バランスのとれた対策を進めます。今後も、ヤマをはらずに、まんべんなく勉強する姿勢が必要になります。不得意分野をつくらず、時事的問題にも注意しながら基本的事項の定着を中心に授業を行います。
- ・ 「算数」は、主に中学校で学習する範囲から出題されています。中学校の基本的な内容から、公立高校入試のレベルです。分野の偏りもなく、まんべんなく出題されています。平成27年度までは大問形式が4つありました。平成28年度から全部単問題形式になり、解きやすく得点しやすくなりました。平成29年度実施から文章が長くなり読解力が問われています。授業では中学数学の基礎的なものから過去問題のレベルまでを学習します。
- ・ 「理科」は、主に中学校の範囲から出題されています。また、物理・化学・生物・地学の各分野から2問ずつ計8問が出題されます。中学校理科の範囲をしっかりと基礎固めできれば、合格点を取ることは十分可能ですので、高校受験の参考書を利用して授業を進めます。
なお、平成30年度実施の問題において、正答数不明な複択問題が登場し難易度がやや上がりましたが、問題を精査すると、8問中6問は高校受験参考書に何らかの記載があるものでした。しかも平成31年度実施の問題では難易度は平年並みに戻っています。このような出題傾向の変化に動揺することなく、基礎学力をしっかりとつけていくことが大切です。
- ・ 「音楽」は、オリジナルテキストを用いて、過去に多く出題された問題を中心に演習します。

とくに音符や音階, 調, 拍子, 和音, 楽器, 楽曲について学習します。

- ・「図画工作」と「家庭」は, 過去問題とその解説で, 頻出事項を確認します。
- ・小学校 A では学習指導要領の対策は行いません。小学校Bの受講を勧めます。小学校Bの受講ができない方にも希望者には, 小学校Bの指定教材及び前半の授業で使用する資料・問題を販売します(4,000 円)。
- ・本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29~30 をご覧ください。
それぞれ 2 月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

(2) 小学校B 学習指導要領対策講座(本校・月曜日・金曜日)

→カリキュラムは, p.71 をご覧ください。

指定教材 : 「小学校学習指導要領テキスト」(3 冊)メセナ予備校 1,000 円

「小学校学習指導要領問題」(4 冊)メセナ予備校 1,000 円

※第 1 タームの授業で使用する資料・問題 2,000 円(受講生は授業料に含まれる)

※各自, 「小学校学習指導要領解説」の各教科編を購入しておくことを強く勧めます。とくに国語・算数・体育は過去にも解説から多く出題されています。

- ・学習指導要領対策の授業を 3/8(月)・12(金)より開講します。
- ・専門 180 点のうち, 令和 2 年度実施採用試験では 68 点分(38%)が, 平成 31 年度実施採用試験では 62 点分(34%)が, 学習指導要領その他の文書からの出題でした。一般教養 30 点・教職教養 60 点と比べても, 力を入れて取り組むべき分野です。
- ・全教科扱います。
- ・学習指導要領解説も扱います。令和 2 年度実施採用試験では体育と道徳科で解説から出題されました。平成 31 年実施採用試験では国語, 図画工作, 体育, 総合的な学習の時間で解説から出題されました。各教科の「解説」を購入しておくことをすすめます。

- ・3 タームに分けて学習します。

《3~4 月》—第 1 ターム—

- ・学習指導要領解説も参照しながら, 学習指導要領本文の全文について, 重要語句を確認していきます。
- ・各教科の系統表・比較表により共通する語句や異なる語句を確認します。
- ・4 択問題で知識の確認をします。

《4～5月》—第2ターム—

- ・教科ごとに4択の演習を行います。

《5～6月》—第3ターム—

- ・本番同様の4択の演習を計7回行います。
- ・60問程度の問題を出題します。
- ・前回の正答率や間違いが多かった問題などのフィードバックを行います。

(2) 小学校 C 算数・理科の演習(本校・日曜日)

→カリキュラムは、p.72をご覧ください。

指定教材：なし

※ 算数は『オリジナル予想問題』を毎回配布します。

※ 理科はオリジナルプリントを各分野ごとに配布します。

参考図書：『中学総合的問題集 理科 改訂版』旺文社 1,650円（購入の義務はありません。）

- ・日曜日に小学校 C を 3/28(日)より開講します。
- ・算数…沖縄県の採用試験で出題される程度の問題を演習(50分)した後解説します。
- ・理科…物理・化学・生物・地学(各1回)の分野ごとにまとめの1回を加え、問題を演習・解説します。

(3) 英語

→カリキュラムは、p.73をご覧ください。

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門英語の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 英語平成 25 年度～令和 2 年度実施」を無料で配付します。

指定教材：★『全問正解する TOEFL ITP TEST 文法問題対策』語研 2,200 円

★『英検 1 級出る順パス単』旺文社 1,870 円

長文練習問題(毎回の授業で担当講師が選択した問題を 1 部ずつ配布)530 円

「採用試験過去問題集 英語平成 25～令和 2 年度実施」メセナ予備校

(英語受講者に無料配布)

★の教材は前年度の英語A受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

- ・ 水曜日に英語(中学校・高等学校)の筆記試験・リスニング試験の対策を行います。リスニング対策は 3 月より開始します。
- ・ 毎回の講義で、英検 1 級レベルの英単語・熟語を発音し、意味や語法を確認します。
平成 25 年度採用試験までの専門英語の筆記試験は約 65%が語彙の問題でしたが、平成 27 年度以降はその出題率が 20%(平成 31 年度は 17%)に下がりました。だからと言って単語・熟語の暗記を疎かにしてよいはずはありません。語彙力があれば英文をスピーディーに読めますし、文法問題でも、語句の意味を知っていると解答時間を短縮できます。つまり、語彙力を上げることが一次試験突破のカギとなります。毎回の講義で単語テスト(または熟語テスト)を実施しますので、しっかり準備して臨んでください。
- ・ 毎回の講義にて、文法問題の解答解説をします。
問題をただ漫然と解いても文法力はつきません。特に専門英語の試験で出題される「誤所指摘問題」で高得点を狙うには、英語の論理的な文法に慣れる必要があります。つまり、熟語や構文の暗記だけではなく、動詞の語法や、文法的に「なぜそうなるのか」という考え方を実例文に即して理解することが必要となります。
- ・ 毎回の講義にて 500～600 語の英文読解問題を解きます。英文読解の力をつけるには、まずは英文を読むことに慣れることです。今後 1 日たりとも英文を読まない日を作ってはけません。令和 2 年度採用試験の筆記試験ではリスニング 10 問、英語問題 27 問中、長文読解関連の問題は 15 問です。すなわち約 40.5%が長文問題です。従って、毎回の授業で 500 語程度の長文問題を解く練習をします。

- ・リスニング対策は 3 月から開始します。リスニング試験対策のため TOEFL、英検準 1 級、英検 1 級の過去のリスニング試験問題を使ってリスニング力強化を図ります。日頃から積極的に英語を聞く環境を作りましょう。リスニングが苦手な方は、映画(DVD 映画等)を見る際に英語の字幕付きで見てください。聞き取れなかった単語や表現などを瞬時に字幕で確認できます。その際、聞き取れなかった語句を何度も発音してください。そうすることで徐々にネイティブの英語発音を聴くことに慣れていきます。また毎日、時間のあるとき、運転するときなど、英語のラジオ放送(米軍の FEN 局など)を聴くようにしましょう。リスニング力強化のためには日々英語を聴く環境をできるだけ多く持つことです。
- ・本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29~30 をご覧ください。
それぞれ 2 月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

(4) 数学

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門数学の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 数学平成 15 年度～令和 2 年度実施」とその解説を無料で配付します。

(4) 数学A (本校・土曜日)

→カリキュラムは、p.77 をご覧ください。

- ・ 土曜日は 3 期に分けて学習します。

指定教材：

(10～11 月) ☆ 『増補改訂版チャート式 解法と演習 数学 I + A』数研出版 1,991 円

(12～2 月) ☆ 『改訂版チャート式 解法と演習 数学 II + B』数研出版 2,178 円

(2～3 月) ☆ 『オリジナルテキスト(数学Ⅲ)[4 分冊(解答・解説付き)]』

メセナ予備校 671 円

(3～6 月) ★ 『教員採用試験オープンセサミシリーズ ステップアップ問題集(4)

中学・高校数学 2021 年度版』七賢出版 1,760 円

☆の教材は前年度と同一教材のため、前年度の数学(土曜日)受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

★の教材は改訂があれば全員購入してもらいますが、改訂がない場合は、前年度の数学(土曜日)受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

《10 月～1 月》

- ・ 数学の基礎力定着のために、数学 I・A、数学 II・B 分野を詳しく解説するとともに、計算スピードアップをはかるために授業の最後にチェックテストを配布して、速く、正確に答えを出せるように訓練します。
- ・ 定理・公式を覚えるだけでなく、使って慣れることができるように、定理・公式の証明を授業の中で多く取り入れます。

《1 月～3 月》

- ・ 出題難易度の幅が広く、得点差がつきやすい分野である微分・積分強化月間として、数学 II の内容から数学 III についての計算力アップをはかります。
- ・ 数学 II については、授業の最後にチェックテストを配布して定着が図れるようにします。

《3月～直前期》

- ・ 沖縄県の採用試験の出題範囲は、中学校・高等学校の教科書レベルから大学入試レベルの問題まで幅広いです。
- ・ 全分野をまんべんなく学習します。
- ・ 1回の授業で1～2単元を基本に、解答解説をします。
- ・ 限られた時間内で相当量の問題を解くスピードを養うために、チェックテストを用意します。
- ・ 最後の2回は本番と同形式の総合演習問題を用意して実践力をつけてもらいます。
- ・ 本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の2回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木)、6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29～30 をご覧ください。
それぞれ2月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

(4) 数学B 数学Ⅲ対策講座(本校・火曜日)

→カリキュラムは、p.79 をご覧ください。

指定教材 : ☆『数学Ⅲ基礎問題精講』旺文社 1,430 円

「採用試験過去問題集 数学平成 15～28 年度＋平成 28～31 年度実施＋令和 2 年度実施」メセナ予備校(数学受講者に無料配布)

☆の教材は前年度と同一教材のため、前年度の数学(火曜日)受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

- ・ 火曜日に難易度の幅が広い数学Ⅲ中心の講座を開講します(別途教材費、授業料が必要です。p.10～12 をご覧ください)。
- ・ 新課程で復活した複素数平面の単元についての授業を詳しく解説します。
- ・ 問題数の少ない単元については確認プリントを用意します。
- ・ 単元終了ごとに演習を行い、どの程度定着できたかを確認していきます。
- ・ 沖縄県の採用試験は、平成 24 年度採用試験から全問マーク式ですが、本講座の授業では記述の問題にも取り組みます。数学教師としての本物の力を磨くよう指導します。
- ・ 平成 28～31 年度実施、令和 2 年度実施採用試験の過去問を解いてもらい、その解説を行います。
- ・ 平成 31 年度実施採用試験の数学(中学校・高等学校)の一次合格者7名のうち2名が、専門週 2 日以上を受講者でした。

(4) 数学C 数学総合問題対策講座(本校・木曜日)

→カリキュラムは、p.81をご覧ください。

指定教材：『2021年度版 全国まるごと 過去問題集 #数学科』協同出版 1,980円

- ・ 木曜日に全国の2020年度採用試験で実施された専門教養数学科の問題集を使用した授業を開講します(別途教材費, 授業料が必要です。p.10~12をご覧ください)。
- ・ 指定教材終了後は演習による実践力をつける授業を行います。
- ・ 沖縄県の採用試験では, 全国の採用試験の過去問題に類似した問題が出題されています。
- ・ 全分野をまんべんなく学習していきます。

(5) 国語

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門国語の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 国語平成 15 年度～令和 2 年度実施」を無料で配付します。

(5) 国語(本校・日曜日)

→カリキュラムは、p.83 をご覧ください。

指定教材:「国語演習問題」(30 回分) 4,500 円

- ・ 現代文(評論・小説)×30 回=60 題 古文×30 回=30 題 漢文×30=30 題
合計 120 題を予定。
- ・ 古文は「歌物語」「歴史物語」「随筆」「日記」「歌論」等広く問題にあたります。
- ・ 漢文は「論語」「史記」「漢詩」等有名なエピソードに着目して問題を選定します。
- ・ 多くの問題をこなしたいという受験生、読解力をつけたいという受験生の要望に応えます。
- ・ 毎回 90 分で現代文 2 題、古文・漢文をそれぞれ 1 題解き、その後解答解説。
- ・ 難問に挑戦していくことで読解力とスピードを養成します。
- ・ 記述式問題を中心にしながらマーク式問題も演習していきます。
- ・ 本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29～30 をご覧ください。
それぞれ 2 月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

(6) 中学社会

→カリキュラムは、p.85をご覧ください。

- ・4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・専門中学社会の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 中学社会平成 16 年度～令和 2 年度実施」を無料で配付します。

指定教材：※センター試験対応「地理ノート」山川出版社 1,100 円

※「30 日完成スピードマスター日本史問題集」山川出版社 737 円

※「30 日完成スピードマスター世界史問題集」山川出版社 737 円

※「詳説日本史 B」山川出版社 844 円

※「詳説世界史 B」山川出版社 861 円

※「政治経済必修テキスト」メセナ予備校 800 円

★『2020 新政治・経済資料』実教出版 990 円

★「政治経済基本事項チェック問題」メセナ予備校 400 円

「学習指導要領問題」メセナ予備校 131 円

※の教材は、前年度と同じ教材です。前年度受講した方は購入しなくてもよいです。必要な方は購入してください。

★の教材は、改訂がわずかなため、前年度購入した方は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

- ・歴史の一問一答問題，歴史・公民の 4 択問題は適宜配布します。

〈過去の出題内容〉

	計	学習指導要領	地理	歴史	公民	(うち沖縄関連)
令和 2 年度実施	50 問	10 問	17 問	14 問	9 問	歴史 1 問
平成 31 年度実施	90 問	15 問	30 問	30 問	15 問	地理 2 問・公民 1 問
平成 30 年度実施	90 問	15 問	30 問	30 問	15 問	地理 1 問
平成 29 年度実施	90 問	20 問	28 問	28 問	14 問	地理 2 問・歴史 2 問・公民 1 問
平成 28 年度実施	90 問	20 問	25 問	26 問	19 問	歴史 2 問・公民 1 問
平成 28 年度	90 問	22 問	21 問	28 問	19 問	歴史・公民 4 問

平成 27 年度	90 問	26 問	19 問	25 問	20 問	地理 4 問・歴史と文化 1 問
平成 26 年度	90 問	30 問	20 問	20 問	20 問	歴史と文化 1 問
平成 25 年度	90 問	20 問	25 問	20 問	25 問	歴史と文化 5 問
平成 24 年度	90 問	43 問	10 問	21 問	16 問	地理 3 問・歴史と文化 7 問・公民 10 問
平成 23 年度	90 問	40 問	20 問	15 問	15 問	地理 4 問・歴史と文化 5 問
平成 22 年度	90 問	30 問	20 問	20 問	20 問	地理 6 問・歴史と文化 3 問・公民 1 問
平成 21 年度	90 問	35 問	15 問	20 問	20 問	地理 4 問・歴史と文化 5 問・公民 1 問
平成 20 年度	90 問	29 問	20 問	20 問	21 問	地理 3 問・歴史と文化 5 問・公民 3 問
平成 19 年度	90 問	28 問	20 問	20 問	22 問	地理 4 問・歴史 1 問・公民 1 問
平成 18 年度	90 問	15 問	25 問	25 問	25 問	地理 5 問・歴史 4 問・公民 4 問
平成 17 年度	90 問	36 問	10 問	19 問	25 問	歴史と文化 4 問
平成 16 年度	96 問	15 問	31 問	25 問	25 問	地理 6 問

- ・毎回の授業で、「地理」「歴史」「公民」から 2 分野(80 分×2)ずつ学びます。地理 20 回、歴史 24 回、公民 16 回の配分とします。
- ・各分野とも、高等学校レベルの問題が数多く出題されています。
- ・「学習指導要領」については、令和 2 年度は 50 問中 10 問、平成 31 年度実施採用試験は 90 問中 15 問出題されました。毎回の授業でチェックテストを用意しますので、各自で学習してください。
- ・「地理的分野」については、令和 2 年度実施採用試験では平成 31 年度実施と同様に多様な問題が出題されました。ニュージーランドの地誌、南アジアの地誌、南アメリカの地誌、日本の東西南北端の島の緯度経度、日本の川と平野の組合せ、日本が輸入している資源と主な輸入先の組合せ、世界の自動車生産国の推移、日本の世界遺産、食の安全性(トレーサビリティ)、日本の貿易港の輸出輸入額、沖縄県のデータなど、高校入試のレベルの問題から高校「地理 B」の内容まで実に様々な分野から出題されています。ヤマをはずさず地理分野の多様な問題に対応できなければなりません。対策としては、日頃から中学校の地理の教科書を精読して地理分野の基礎的事項を押さえること。さらに、高校「地理 B」の内容(センター試験レベル)の地理用語や沖縄県の地理に関する基本事項まで学習しておく必要があります。日頃から新聞等を読んで地理的な情報に関心をもつ態度も大切です。あらゆる機会をつくって地理の知識を確認することです。授業では、高校「地理 B」の内容を効率よく整理した教材を通年で使って、ヤマをはずさずまんべんなく学習していきます。地理の基礎的な問題からセンターレベルや時事的な問題にも興味関心を持ち、柔軟に対応できるほどの勉強量が必要とされます。
- ・「歴史的分野」は、日本史と世界史は同じ数の問題が出題されています。日本史・世界史ともにセンター試験の基礎レベルの内容となっています。令和 2 年度は、いずれも 19 世紀以降のみ出題されました。令和 3 年度は、以前のように、近代以前も出題されるでしょう。授業では、山川の「日本史 B」「世界史 B」の教科書と各単元のまとめを使って、各単元の「流

れ]をつかみながら、キーワードを確認していきます。毎回のチェックテストにより、知識の定着を図ります。なお、山川以外の教科書の記述からも出題されていますので、閲覧用に数冊を設置しておきます。「琉球・沖縄の歴史と文化」についてはテキスト及びチェックテストを配布します。

- ・「公民的分野」については、令和2年度は9問中6問が時事的な内容でした。また、9問中6問が正誤文選択、3問が語句選択でした。数年前までは語句選択が多かったのですが、最近の問題が難化しています。授業では「政治経済」「現代社会」の内容・レベルに合わせて授業を行います。また、時事問題についても学習します。テキストは主に「政治経済必修テキスト」を使用します。毎回、各単元の内容に関するチェックテストと正誤文選択問題を配布します。公民的分野の教科書レベルの問題のうちほとんどが「政治経済必修テキスト」と「政治経済基本事項確認問題」に掲載されているのでこの2冊をしっかり学習してもらいます。令和2年度のように高校の教科書レベルを超えた問題が出されることもあるので、日頃から新聞を読むこと、「政経資料集」を読むこと、各省庁のサイトにある白書・統計などの資料を利用することで各自知識を深めてください。
- ・本番と同形式の模擬試験を2/20(土)・6/12(土)の2回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木)、6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細はp.29～30をご覧ください。
それぞれ2月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

地理分野の推薦教材：『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』二宮書店 770円
2021年1月10日ごろ発売予定。

歴史分野の推薦教材：『山川 詳説日本史図録 第8版』山川出版社 946円
『山川 詳説世界史図録 第3版』山川出版社 946円
→歴史図録はいくつかあるので好みのものでよいです。

公民分野の推薦教材：『日本国勢図会 2020/21年版』矢野恒太記念会 2,970円

琉球・沖縄の歴史と文化の推薦教材：『教養講座 琉球・沖縄史』
沖縄歴史教育研究会 新城俊昭著／東洋企画 2,200円

以上、各自で購入してください。

(7) 公民

→カリキュラムは、p.88をご覧ください。

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門公民の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 公民平成 15 年度～令和 2 年度実施」を無料で配付します。

指定教材：※「政治経済必修テキスト」メセナ予備校 800 円

★『2020 新政治・経済資料』実教出版 990 円

★「政治経済基本事項チェック問題」メセナ予備校 400 円

★「政治経済・現代社会センター分野別問題集」7 冊メセナ予備校 1,500 円

「学習指導要領問題」メセナ予備校 110 円

◇「倫理必修テキスト[上・下]」メセナ予備校 800 円

◇「倫理問題集[上・下・テーマ別]」メセナ予備校 600 円

◇「倫理演習問題集」メセナ予備校 300 円

◇「倫理空欄補充問題集」メセナ予備校 300 円

※の教材は、前年度と同じ教材です。前年度受講した方は購入しなくてもよいです。必要な方は購入してください。

★の教材は、改訂がわずかなため、前年度又は前々年度に購入した方は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

◇の教材は、これまでに公民を受講したことがある方は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

なお、倫理のセンター分野別問題・過去問分野別問題は、各単元の授業でそれぞれ配布します。

- ・ 公民は「現代社会」「倫理」「政治経済」の 3 つの科目に分かれています。 「現代社会」は他と共通する内容が多いので、「倫理」と「政治経済」の 2 科目に分けて授業を行います。
- ・ ほぼ毎回の授業で、「政治経済」「倫理」の 2 分野(80 分×2)を学びます。(「政治経済」は 35 回、「倫理」は 23 回の授業)
- ・ 平成 31～28 年度実施採用試験では、問題数が 60 問に減り、難問も減りました。令和 2 年度は時間短縮により問題数が 30 問(1 問 6 点)となりましたが、難問がいくつかあり、これが合否を分けました。各科目とも基本的には高校の教科書レベルの問題が出題されます。基本事項をまんべんなくおさえておくことが重要です。合格最低ラインである 9 割の得点が目標です。

- ・「高等学校学習指導要領」は新学習指導要領から出題されます。自学できるよう演習問題を用意します。
- ・本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29～30 をご覧ください。
それぞれ 2 月教養月例テスト・教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。
- ・本番と同形式の模擬テストを 4/24(土)・5/29(土)の 2 回実施します。それぞれ 4 月教養月例テスト・5 月教養月例テストとのドッキングの成績表を出します。模擬テストは、授業時間内の受験のみです。

〈政治経済〉

- ・単元ごとに「政治経済必修テキスト」を用いて解説を行います。
- ・センター試験の「現代社会」「政治経済」の分野別過去問題集 7 冊(解説付き)の問題と解説すべてに目を通しておいください。
- ・教科書レベルを超える出題もあります。『用語集』で用語の説明を逐一チェックすることを勧めます。さらに、新聞や『現代用語の基礎知識』などの用語事典、各省庁や衆議院・参議院、最高裁判所、日本銀行などのサイトにある白書・統計などの資料を利用して各自知識を深めてください。
- ・毎回の授業で正誤問題のチェックテストを行います。
- ・毎回の授業で法令・統計その他必要な資料を配布します。

〈倫理〉

- ・4 月まで思想分野を中心にオリジナル教材の解説をします。歴史的なつながり、各思想の意義を確認し、思想家とキーワードをしっかりと結び付けられるようにします。
- ・5 月以降は、徹底して演習問題を解いてもらい、満点を目指します。
- ・毎回記述式及び正誤問題のチェックテストを行います。
- ・山川出版社の『倫理用語集』は各自購入しておいてください。

政治経済の推薦教材：『用語集 政治・経済【新訂第 6 版】』清水書院 979 円

『日本国勢図会 2020/21 年版』矢野恒太記念会 2,970 円

倫理の推薦教材：『倫理用語集 第 2 版』山川出版社 880 円

『倫理資料集 ソフィエー智を学び夢を育む』清水書院 935 円ほか

各自で購入してください。

(8) 保健体育

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門保健体育の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 保健体育平成 22 年度～令和 2 年度実施」とその解答を無料で配付します。

(8) 保健体育A (本校・土曜日)

→カリキュラムは、p.91 をご覧ください。

指定教材：☆『(新)中学校学習指導要領解説—保健体育編—』東山書房 458 円

☆『(新)高等学校学習指導要領解説—保健体育編・体育編—』

東山書房 552 円

☆の教材は前年度と同一教材です。すでに持っている方は購入しなくてもよいです。

- ・ 2/13(土)までは「学習指導要領解説」や「各運動分野の技能の内容」の出題箇所の穴埋め問題と過去 3 年分程度の過去問分析, 20 分程度の分野別チェックテストを行い, 翌週に正答率の低い問題のポイント解説を行います(間に 10 分程度の休憩を入れる)。
- ・ 2/27(土)からは試験本番にあわせた対策プリント(マークシート形式)を解いてもらい(翌週の月曜日まで受験可能), 翌週に個票を返却し, 正答率の低い問題のポイント解説を文書にして配布します。
- ・ 正答率の低い問題は繰り返し出題することがあります。
- ・ 授業では, 中学校学習指導要領解説と高等学校学習指導要領解説及び要点のまとめ, 沖縄県の採用試験の出題の傾向・特徴に合わせたオリジナル演習問題を使用します。
- ・ 各運動分野の技能の内容については, 中学校・高等学校で使用されている教材をもとに予想問題を作成します。
- ・ 時事問題や, 文部科学省・スポーツ庁が出した文書, 沖縄県教育委員会が出した文書では, 最新の資料を使い問題を作成します。
- ・ 学習指導要領解説から出題される重要語句を, いろいろなパターンの穴埋め問題で確認し定着を図ります。
- ・ 沖縄県の採用試験は全問選択肢からの択一問題ですが, 記述穴埋めを取り入れることで, 重要語句の定着を図ります。
- ・ 授業では, 演習問題を繰り返し解きます。
- ・ 本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29～30 をご覧ください。

- ・ 本番と同じ形式の実力診断模試を 12/19(土)に実施します。また本番と同形式の保健体育模擬テストを 3/20(土)・4/17(土)・5/22(土)の 3 回実施します(翌週の月曜日まで受験可能)。それぞれ 12 月教養月例テスト・3 月教養月例テスト・4 月教養月例テスト・5 月教養月例テストとのドッキングの成績表を出します。

(8) 保健体育B (本校・水曜日)

→カリキュラムは, p.93 をご覧ください。

指定教材 : ☆『中学体育実技 2019—沖縄県版—』学研 802 円

☆『アクティブスポーツ 2019—総合版—』大修館書店 902 円

☆『ステップアップ高校スポーツ 2019』大修館書店 1,012 円

☆『新中学保健体育』学研 421 円

☆『現代高等保健体育 改訂版』大修館書店 636 円

☆『高等学校保健体育 改訂版』第一学習社 636 円

☆の教材は前年度と同一教材です。すでに持っている方は購入しなくてもよいです。

- ・ 競技には多くの種目があります。その知識, ルールについて各分野ごとに用語の確認や過去問の解説などを行います。
- ・ 保健分野の知識問題, 時事問題について用語の確認や過去問の解説などを行います。
- ・ 4/7(水)からは, 記述型+択一型の演習を用意して, 知識の定着を図ります。自己採点してもらい, 正答率の低い問題については, 翌週に解説を行います。

(9) 養護教諭

→カリキュラムは、p.95をご覧ください。

- ・ 4/11(日)までに専門科目の受講申込をした方には、前年度の専門模擬試験 2 回分を無料で配布します。
- ・ 専門養護教諭の受講申込をした方には、「採用試験過去問題集 養護教諭平成 29 年度実施～令和 2 年度実施」を無料で配付します。

指定教材：◎『2022年度版 教員採用どこでも！養護教諭試験』一ツ橋書店 1,430円

★Web上に公開されている資料のURLリスト(印刷物) メセナ予備校 170円

★☆Web上に公開されている資料のURLリストとダウンロード済みファイルなど
(電子データ/DVD-ROMとmicroSD) メセナ予備校 (無償貸与)

必須教具：◆ノートPC(Windows・macOS)またはタブレット(Windows・Android・iOS)

◎の教材・今期は、過去の版(「2016～2021年度版」)は不可です。この出版物は隔年で改定されており、「2022年度版」は改定新版にあたるため、皆携帯してください。

★の教材・カリキュラム中の「8講」(または「9講」)以降に配布します。

☆の教材・無償貸与するメディア(DVD-ROMとmicroSD)は原本(バックアップ)です。

ノートPCやタブレットに予めコピー※1して、講義に持参してください。

※1 コピーができない方は申し出てください。個別に対応します。

◆の教具・スマートホンは不可です。画面サイズが比較的小さいノートPCを持参する受講生が多いです。必須アプリを予めインストール※2して、講義に持参してください。
教室内でのACアダプタの使用も許可します。

※2 使用するICT機器により異なります。個別に対応して、不足分をその都度補います。

- ・ 過去問演習と解説をセットにした対面形式の授業を沖縄校で行います。
- ・ 過去問演習のテーマは7つ(A～G)です。Aでは本県の、B～Gでは出題形式や傾向が本県の採用試験に似た県外の過去問を用います。
- ・ 通年で計30回実施する過去問演習では、次の流れで授業を行います。

(6分)	→	(20分)	→	(10分)	→	(80分)
問題演習 マークシート提出		補足資料配布※3 採点/調べ		休憩		成績個票配布 解説/調べ

※3 補足資料(主にPDF形式の文書データ)を、各自のノートPCやタブレットに、ローカルWiFi経由でダウンロード、またはカードリーダー経由でコピーすることで、配布します。

- ・ 本校でも問題演習や補足資料の受け取りができます^{※4}。ただし、対面授業による解説はありません。また、演習答案(マークシート)が提出されれば、次回の講義日以降に、成績個票を受け取ることができます。なお、本校と沖縄校の行き来は自由です。

※4 本校での演習準備・マークシート提出・資料の受け取り(文書データのダウンロードまたはコピー)は、原則として各回の講義の時間帯(毎土曜日の15:10～18:00)に、事務窓口で済ませてください。

- ・ 専門試験対策では、Webサイトに公開されている資料(主にPDF形式の文書データ)を検索・参照^{※5}しながら勉強をすすめる機会が、とても多いです。すべての資料を紙で配布すると膨大な量になり、整理に圧倒されて効率的ではありません。よって本講座では紙資料の配布を減らし^{※6}、紙に代えてICT機器(ノートPCやタブレット)を活用していきます。

※5 主な検索先は「文部科学省」「公益財団法人 日本学校保健会」「独立行政法人 日本スポーツ振興センター」「電子政府の総合窓口(e-Gov イーガブ)」「厚生労働省」「環境省」のWebサイトです。

※6 紙に印刷が必要な分は、個人のプリンターなどをお願いします。

- ・ 本番と同形式の模擬試験を 2/20(土)・6/12(土)の 2 回実施します(2/21(日)・23(火)・24(水)・25(木), 6/13(日)・15(火)・16(水)・17(木)にも実施)。詳細は p.29～30 をご覧ください。

(10) 面接対策講座(旧・論文)

→カリキュラムは、p.97をご覧ください。

☆ 面接対策講座(旧・論文)の受講クラスは固定制です。

ただし、当該曜日・クラスで受講できない場合は、「振り替え出席制度」が利用できません。→振り替え出席制度については、p.24～25をご覧ください。

- ・ 定員に達していない限り、途中で校舎・曜日・時間帯を変更することは可能です。必ず事前に事務窓口で科目変更届を提出してください。変更前も変更後も同じ校舎・曜日・時間帯で4回以上連続受講となる場合に限り(キャンセル待ちによる変更の場合を除く)。科目変更届の詳細は p.22～23 をご覧ください。

指定教材： 特になし。

◎「論文講座」を「面接対策講座」に変更します。

※「受験調書」の書き方についても指導します。

令和3年4月2日に沖縄県教育委員会より発表された内容によれば試験当日の提出書類として「受験調書」が要請され、去年度よりも記入事項が量的に増加しました。特に一次試験の段階で自己PR文を600字以内で記入することが求められています。

そこでメセナ予備校では

- ①簡潔な記入
- ②質問したくなる書き方(質問トラップの仕掛け方)
- ③自己PRの基本(序論・本論(柱立て)・結論)
- ④原稿用紙の使い方
- ⑤沖縄県の教育施策を踏まえた取り組みたいことの展開

等を受験調書の書き方・面接対策として指導していきます。

本番と同じ書式での用紙を準備し毎回添削指導を行います。受講生が納得できる自己PRを書き上げるサポートをしていきます。

※受験調書等の提出

次の授業での返却のための提出期限

本校・土曜	本校・日曜	沖縄校・金曜
前の木曜日	前の金曜日	前の水曜日

- ・ 提出用の専用のケースに、提出してください。本校は、2F 事務室入口を入った左側に、沖縄校は、1F事務室のカウンターの上にあります。

- ・ 受講している校舎とは別の校舎での提出もできます。ただし、職員による本校・沖縄校間の答案の移動が必要なため、答案の返却が遅くなる場合があります。

主な担当講師の紹介

伊禮 春孝 「高校公民(政治経済・倫理)」「中学社会(公民・歴史)」「小学校(音楽・学習指導要領)」「教職教養(教育法規, 学習指導要領, 特別支援教育, 沖縄の教育)」
「一般教養(社会科学・人文科学)」担当
メセナ予備校代表取締役。一橋大学法学部法律学科卒業。

古堅 淳二 「教職教養(教育原理, 教育時事, 教育史, 教育心理, 生徒指導文書)」
「小学校(社会)」「中学社会(地理)」担当
メセナ予備校取締役。琉球大学法文学部法政学科卒業。
中学校・高等学校教諭1種免許(社会)取得。

新里 嘉久 「小学校(算数・図画工作・家庭)」担当
メセナ予備校取締役。琉球大学理学部数学科中退。

成底 健 「数学」「保健体育」担当
琉球大学理学部数学科卒業。中学校・高等学校教諭1種免許(数学)取得。
渡名喜村立渡名喜中学校で臨任。

國吉 朝之 「小学校(理科)」「一般教養(物理・化学・生物・地学・数学・情報)」担当
琉球大学医学部医学科卒業。

津覇 實明 「論文」「国語」「小学校(国語)」担当
中央大学法学部卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。

具志 幸弘 「英語」担当
Lenoir Community College, University of north Carolina at Charlotte 卒業。
米国在住 10 年, 米企業勤務経験あり。
浦添市立神森中学校, 那覇市立上ノ山中学校で英語非常勤講師。
現在, 沖縄大学非常勤講師。英会話塾主宰。

永井 秀樹 「養護教諭」担当
琉球大学理学部生物学科中退。